



霧島市の子どもたちの学力を伸ばすために

「授業連動型家庭学習」のお知らせとお願いについて

令和元年 11 月 霧島市教育委員会

○ はじめに

霧島市の小・中学校では、家庭学習の内容を授業に生かし、児童生徒がより一層、主体的に授業に取り組めるように「授業連動型家庭学習」の実践をすすめています。

(イメージ)



○ 「授業連動型家庭学習」の内容（例）とその効果について

- ・(算数) 割り算の学習後、 $12 \div 3$ の割り算の意味を図やブロック等を使って保護者に説明する。
→ 学んだことを他者に伝える(教える)ことで、学習内容を確実に定着させることができます。
- ・(社会) 家庭で一週間に出るゴミの種類と量を記録し、特徴や分かることをノートにまとめる。
→ 学習内容がより身近に感じられ、意欲的に学習をすすめることができます。
- ・(英語) 修学旅行で行った場所の中から、おすすめしたい場所の紹介を英文で5文以上書く。
→ 学んだことを活用して自分だけの力で書くことで、思考力と表現力を高めることができます。

※ 先生方は日々の授業の準備・計画で、この単元のこの題材の授業では「授業連動型家庭学習」を活用した授業が効果的であると判断した時などに、児童生徒に家庭学習で取り組む内容について事前に指示したり、保護者に協力をお願いしたりすることがあります。保護者の協力を毎日お願いするというものではありません。

○ 上記以外の「授業連動型家庭学習」のよさについて

【児童生徒・保護者】

- 次時の授業にワクワクした気持ちで臨むことができ、意欲的な学びの習慣化が期待できます。(私の家庭学習について発表したい! みんなの発表も楽しみだ!)
- 個人で深める課題に自分のペースで納得できるまで取り組むことができます。(時間がかかったけど、自分の力で最後までやりきったぞ!)
- 保護者は授業の様子が分かり、子どもの成長をほめる機会が増えます。児童生徒は、保護者や先生、仲間に認めてもらうことで自己肯定感が高まり、安心して学習できます。(自分にはよいところがある、と実感できた!)

○ 保護者にお願いしたいこと

授業連動型家庭学習の内容は児童生徒が自分の力で取り組むものですが、保護者に学習内容を説明したり、保護者にインタビューしたり、家庭や身近な場所で調べ活動をしたりする場合があります。できる範囲で見届けなどの御協力をお願いします。

○ 「授業連動型家庭学習」について、霧島市教育委員会ホームページにも掲載しています。

<http://www.city-kirishima.jp/gakko/kyoiku/gakko/kateigakushu/index.html>

